

一歩一歩前へ——想いをつなぐ

TEIKYO UNIVERSITY SPORTS OFFICIAL YEARBOOK 2013 EKIDEN

SPORTS
OFFICIAL
YEAR BOOK
TEIKYO
UNIVERSITY
2013
E K I D E N



帝京大学 駅伝競走部

**E
KIDEN**

TEIKYO UNIVERSITY SPORTS OFFICIAL YEARBOOK 2013

EKIDEN



どれだけの足跡を残してきただろう
 滴る汗が光る暑さも
 水飛沫が上がる雨も
 振り向けば歩んだ軌
 いつも君と駆け抜けたこの道
 ともにこれからも

帝京大学 八王子キャンパス
学生サポートセンター・グループリーダー
強化クラブ室 副室長
山崎 正

総合成績第4位でのシード権獲得、おめでとう！正月の箱根駅伝を振り返ってみると、往路では出場各校の選手達が吹き荒れる暴風に飛ばされまいと懸命に力走を続けた。選手の誰もが襷を一秒でも早く繋ぎたいという思いが、応援する我々に感動を与えてくれました。5区では城西大学、中央大学の選手が棄権に追い込まれた過酷な条件であった。復路の10区では本学の熊崎選手が早稲田大学の選手とのデッドヒートの末に4位に順位を押し上げた。あの熱いシーンが今も目に焼き付いている。出場した選手のみならず、監督・コーチをはじめ全員の力を結集した快挙です。

本戦終了後に、悔しさを表現した選手がいた。厳しい練習を乗り越え、本番で実力を発揮できなかった悔しさである。この気持ちがあれば、来年は更に上位を狙える。学生として、人間として着実に成長している姿を見るにつけ、将来が楽しみな部員達である。

帝京大学 八王子キャンパス事務長
強化クラブ室 室長
古張 隆

昨年度の本学駅伝競走部は、個人でもチームでも大きな飛躍の一年となりました。

昨年春には『日本学生ハーフマラソン選手権大会』において蛭名聡勝選手、山川雄大主将が学生トップクラスのランナーが集う中、ともに自己ベストを樹立し、1、2位を独占。その後、日本代表として出場した『ニューカレドニア国際マラソン』ハーフマラソンの部では、今度は山川選手が優勝、蛭名選手も2位に入りました。

続いて開催された『日本学生陸上競技個人選手権大会』においては大迫聖晃副将が3,000m障害で優勝を飾るなど、近年にはない好成績を残してくれました。

言うまでもなくチームとしての最大のターゲットは『箱根駅伝』に他なりません。部員一人ひとりの春からの地道な努力と成果が、クラブの成長を促す最大の要因となったに違いありません。

今年度も最後の大舞台で日頃の成果を存分に発揮してくれることを願い、イヤブック発刊の御挨拶とさせていただきます。

学校法人帝京大学 理事長
帝京大学 学長
冲永 佳史

昨年度の『箱根駅伝』において、クラブ最高タイの第4位でシード権を獲得した本学駅伝競走部。部員一人ひとりの日々の努力が、躍進の最大の要因であることは間違いありませんが、チームを束ねる中野孝行監督の育成力は各種媒体にも幅広く取り上げられ、専門誌では7ページにわたり『帝京大学 箱根駅伝ランナーの363日』という特集が組まれました。

同時に体調管理や効率的トレーニング、栄養管理など科学的側面から支えた『スポーツ医科学センター』スタッフの尽力も忘れてはいけません。“最後の一步”を後押しする勇気とパワーを選手たちに植え付けてくれたことでしょう。

本年度は10名の“箱根経験者”が残り、赤い旋風が再び箱根路で暴れ回ってくれるに違いありません。チーム一丸となった総合力で勝負する本学駅伝競走部へ、より一層の御声援のほど、宜しくお願い致します。

帝京大学駅伝競走部
イヤブック発刊に寄せて

挫折を乗り越え進化する

駅伝競走部主将の難波幸貴から「自分でキャプテンに立候補した」と聞かされたとき、正直、意外に感じた。
 というのも、このイヤブック取材で難波に毎年話を聞かせてもらってきたが、そのときの印象が「シャイで寡黙」、「内に秘めた闘志は感じるが周りを巻き込むタイプではなく、自分の世界で完結するタイプ」だと思ってい

たからだ。「確かに、これまではメンバー争いに集中していて、周りを見る余裕がなかったと思います。だけど、最終学年になって、自分が先頭に立ってチームをリードしていきたいという思いが強くなった。力のある選手がどんどん出てきて、チームは上昇気流にいます。個人としての成績よりも、チームとしてより良い成績を残していくにはどうしたらいいのか、今はそれを考えるようになりました」
 そう語る難波には、一皮むけた大人のオト

■ 帝京大学駅伝競走部ルポ

取材・文=楠原 安夕香
 Text by Ayuka Kusuhara

大学入学時より実力派をそろえ、名実ともにチームの軸となってきた今年の四年生。

難波幸貴をキャプテンとするこの学年の真の力とは？

四年力

「伝えるけれど、実際にやるのは本人。あとは自主性に任せるしかありません」(蛇名)
 この言葉は中野孝行監督の指導方針と一致する。監督と同じ目線での考え方をいち早く身につけた選手がいるということが、この学年の強みのひとつだ。



TOSHIKATSU EBINA



TSUKASA KOYAMA



KOKI NANBA

この責任感と包容力すら感じる。
 昨年11月、難波は初めて全日本大学駅伝の選考から外れた。そのときばかりは、走るのが嫌になった、と難波は言うが、その大会でチームは11位。「やっぱり自分がしっかり結果を出さなくては」という思いが再燃し、その後の1万mでは自己ベストを更新した。
 「以前は、強い選手に引くところがあったけれど、今は、反対に燃える。自信がついたのか、貪欲にいけるようになりました」(難波)
 一度でも挫折を経験し、そこから這い上がった選手は強い。

その後は自ら生活全般を見直し、「もう走れなくなるかもしれない」という思いを克服。快進撃を続け、今年も国際大会にも出場。7月12日にロシアで行われた「第27回ユニバーシアード競技大会」ハーフマラソンでは、個人総合8位に入賞(日本チームとしては団体銀メダル)。その他、数々の大会で実績を残し、実業団の合宿にも参加している蛇名は言う。
 「大学生の限界は、思考にあると思います。「やれ」と言われてやっている間は、強くない。やるべきことを謙虚にやり続け、そこに自分なりの考えをプラスすると、同じ練習量でも、質がアップします。その積み重ねが必要なのだとわかりました。長距離を走るのには辛いので、自分の考えがないと、やってい



DAIKI IGARI



MIZUKI HASEGAWA



馴れ合いでは終わらない
真のチームワーク

学年の力と言えは、誰もが口をそろえて言うのが「仲の良さ」だ。チームがスローガンにしている「結束」を正に体現しているような学年が自分たち四年生だという。

下級生時から中野監督に、期待をかけられながら、これまでは故障に泣いてきた長谷川瑞貴は言う。

「個人競技でありながら、助け助けられて、自分は今まで走り続けることができた」

彼は走ることに思いが先行しすぎて故障に見舞われることが多く、これまでは主要な大会で結果を残してきたとは言えなかった。それでも走り続けることができたのは、チームメイトのおかげだと長谷川は言う。

チームメイトのアドバイス、監督からの厳しい喝、そして、それに応えた彼自身のひたむきな努力で、今ようやく調子が上がってきた。「同じ学年の蛇名たちが成績を残している、目標が身近にあるのでやりがいがあります。強くなるために自分に必要なのは、私生活からきちんとすること。基本的なあいさつ。から始まって、自分ができていないことを指摘してくれるチームメイトは大切な存在です」(長谷川)

食生活にも気を遣い、体質改善を図っている彼の快走に今年も期待したい。

帝京大駅伝競走部の強み「四年力」

「個人では粘れないけれど、チームであれば粘れる」と話すのは昨年、一昨年と箱根の5区を走り、山登りには絶対の自信を持つ四年生の小山司だ。駅伝を通して仲間の大切さを実感した小山は「自分のゴールは、次の人のスタート。だから、最後の最後まで走り切ることができるし、自分の力以上で走ることができるのかもしれない」と話す。彼もいち早く意識改革した選手の一人だ。1年目は環境の変化に甘んじ、結果を出せずにいたが、自分の甘さに気付く、練習でも粘りを見せるようになった。そして、2年目からはレギュラー入りし、「小山は必ず期待に込めてくれると安心できる」と中野監督に言わせるほど信頼の厚い選手になった。

そんな小山は、一人ひとりに熱を注いでくれる中野監督に感謝していると言う。「今だけではなく社会にでたら通用する指導を受けられるのはありがたいです」

その監督の指導で3年目によく花開いたのが猪狩大樹だ。「最後に勝てればいいと思っていたので、自分では焦りも挫折感もありませんでしたが、客観的に見れば、結果がでない時期が2年も続けば、挫折と見られても仕方ありません。それでも、監督はずっと見てくれていた。そして、昨シーズン、最後の最後に箱根駅伝の最終メンバー入りし、8区を激走。区間3位の成績を残した。

気持ちでは「誰にも負けない」という猪狩も、同じ学年の仲間との結束力には自信がある。「四年生は選手としても、一人の人間としてもお手本になるべき学年。そうでなければ、良い結果を残せない。自分も私生活から正し、手本になれるようになりたい」

さらに難波はこう続ける。「四年の力を背中で見せたい。人間として選手

として自分たちの背中を見て、下の学年が強くなれるような、そんな学年になりたいです」
それぞれの経験と成長を経て、今、実力と哲学、そして謙虚さと思いやりを身につけ結束する彼ら四年生。この「四年力」こそ2013年型帝京大学駅伝競走部の最大の強みと言えるだろう。



【2013年卒業生進路一覧】

(実業団)

株式会社大塚製薬

(企業)

アークランド株式会社
日本郵便株式会社
株式会社サンバルクス
きちり株式会社
株式会社ヨークベニマル

(公的機関・学校教員)

精華女子高等学校

(専門学校)

東京デザイナー学院



■【大会日程】

2013年

9月6日～8日

天皇杯 第82回日本学生陸上競技対校選手権大会
(国立競技場・東京都)

10月14日

第25回出雲全日本大学選抜駅伝競走
(出雲大社正面鳥居前・勢溜～出雲ドーム前 6区間 44.5km)

11月3日

秩父宮賜杯 第45回全日本大学駅伝対校選手権大会
(名古屋市・愛知県～伊勢市・三重県)

11月17日

第26回上尾シティマラソン
(上尾運動公園陸上競技場・埼玉県)

11月23日

10000m記録挑戦競技会
(国立競技場・東京都)

2014年

1月2日～3日

第90回東京箱根間往復大学駅伝競走
(大手町読売新聞旧東京本社前・東京都～箱根町芦ノ湖駐車場入口・神奈川県)

1月19日

天皇杯 第19回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会
(平和記念公園前・広島県 7区間 48km)

2月2日

第38回中日浜名湖一周駅伝競走大会
(浜名湖一周・静岡県)

2月9日

第49回千葉国際クロスカントリー大会
(千葉市昭和の森・千葉県)

3月2日

第17回日本学生ハーフマラソン選手権大会
(陸上自衛隊立川駐屯地滑走路 国営昭和記念公園とその外周道路・東京都)

[Club Data]

帝京大学駅伝競走部

創部 1979年

監督 中野孝行

主将 難波幸貴

部員 65名 (2013年8月5日現在)

【一日のスケジュール】

- 06:00 起床
- 06:40 朝練習 (60分ジョグや集団走)
- 08:30 朝食 (学食にて)
- 09:00 授業
- 16:30 練習
- 18:30 夕食 (学食にて)
- 19:40 寮掃除
- 22:00 消灯



2013年の年明けに開催された第89回東京箱根間往復大学駅伝競走で、第4位入賞を果たし、5年来抱き続けたシード権獲得という目標を達成した帝京大学駅伝競走部。この大会において、それぞれ第4区(区間2位)と第10区(区間3位)を走り、チームに貢献した早川昇平、熊崎健人。レースを振り返りつつ、チームや来季に向けての思いについて対談してもらった。



—— 初めての箱根駅伝大会でしたが、感想を聞かせてください。

早川 「箱根駅伝はやっばりすごいな」と思いました。日ごろ、レースで緊張することはないので、珍しく緊張したので、いつも自分を演じて、平常心を取り戻そうとしました。走り出すと、沿道の声援が耳鳴りをするくらいすごくて、それがレース中、途切れることなく続くんです。そういうレースは初めてでした。走っている僕らや、出場しているチームだけではなく、箱根駅伝を目指して走っている選手たち、応援してくれている関係者、観客、本当にみんながみんな、箱根駅伝に思い入れがあって、その思いが集結しているレースなんだと感じましたし、だから特別な空気があるんだと思いました。

熊崎 ひとつの大きなお祭りですね。耳鳴りがするのは、僕も確かに感じました。10区のゴール前に、観客の立入禁止区域があってシーンと静まり返るのですが、そのときかえって耳鳴りを感じるんです。あまりにも声援がすごくて、頭の中が少し混乱していたかもしれないです(笑)。競い合っている相手の選手と2人だけで走っていたら、相手の息遣いを感じられるし、「どこで仕掛けるか」という駆け引きを冷静に考えられるのですが、いろんな声援が2人の勝負に入ってきて。「帝京負けるな!」とか「早稲田勝て!」とか言われると、嬉しいけど、正直、ワケが分からなくなると、自分のレース展開に迷いが生じてしまった気がします。でも、それも含めて箱根駅伝なんだと思いました。

—— 熊崎選手は、最後の100mで賭けに出ましたね。勝算はあったのですか?

熊崎 実は10km地点、20km地点で仕掛けよう

箱根路の「鼓動」

取材文 楠原 安夕香
Text by Ayuka Kushihara

熊崎健人 × 早川昇平

としたのですが、相手選手にピッタリついてこられてしまって「まだダメだな」という感じで。監督車に乗っている監督からはマイクで「お前を10区に起用した意味は分かっているよな」と。「最後に勝てばいいんだ」とは思っていたのですが、僕が仕掛けるとついでくるのに、相手は仕掛けてこなくて、本当に怖かったです。終盤は完全に一对一の駆

け引きになり、お互いにレースを引っ張りたくないから、コーナーごとに徐々にペースが落ちていきました。ゴールの横断幕が遠くに見える始めて、中継車が離れたときに、バツと視界が開けたのですが、いつものトラックレースとは違うので、正直、ゴールまでの距離感がつかめなくて。しかも、相手と自分がどれくらい離れているかも分からない、相

手がラストスパートをやる気配もない、それで後ろを振り返ったら、思った以上に相手との距離があった。そのときにはもう、ゴールが目前だったので、ここしかない、と思ってラストスパートをかけたんです。レース一週間に監督から「あと10m先にゴールがあったら負けてたぞ」と。昨年一年間は、0・0何秒で何度も負けて悔しい思いをしていたの



で、その総括のようなレスだったと思います。

早川 熊崎は飄々としているように見えますが、普段の練習のときからかなり考えて走っているタイプです。一緒に走っていると、よく分かるんです。帝京大学駅伝競走部の特長は、選手の間延び率が高いことだとよく言われますが、まさにそれを体現している選手だと思います。昨年10月の記録会で、熊崎の記録が飛躍的に伸びたことがあって、正直、その記録会はデータの間違いが多かったので、そのときも間違いかと思いましたが(笑)、本当に順位をあげてきました。僕の伸び率は1・1倍で、熊崎は2倍くらいじゃないでしょうか。

熊崎 今はもう早川に勝ってる(笑)、と言いたいところだけど、まだまだですね。入学当時は確かに早川は学年トップでしたが、今はそうでもない！勢いは僕の方があつた(笑)

早川 それは言えていると思います(笑)。—— お互いに切磋琢磨して、いいライバル関係ですね。

熊崎 僕は最初に飛ばして、終盤失速するタイプですが、早川は後ろで冷静にレースを見ていて、チャンスをつかむタイプです。今回の箱根駅伝でも、そういうレース展開でした。

早川 3区の高橋裕太がいい走りをして、集団で襷を渡してくれたおかげで、いいレース展開ができたと思います。独りで走るのは苦手だし、風が相当強かったんで、今回は特に、集団で走る方が良かったんです。他の選手たちが牽制し合っている間、風も強いし、後ろに下がって様子を見ていたら、集団をリードしていた選手が後ろに下がってきて、他の選手たちも徐々に顔に疲労感が出始めました。ベストで走っていない選手について走るよりは、集団から出て独りで走った方が良いと判断して前に出た。僕自身は限界で走っている感じはなく、周りを見る余裕があったことが功を奏したんだと思います。

熊崎 早川は勢いの代わりに余裕があります。以前、レース中に僕が給水を失敗したときには、自分の水を渡してくれたたり、レース中に僕のペースが落ちているとさりげなく喝を入れてくれたりします。練習でも前を走って積極的にリードしているし、余裕がないとできないことだと思っております。

—— ところで、早川選手は4区に決まったときはどんな心境でしたか？

に追いついて、もうひとつ不安材料が消えました。それは、独りで走る不安がなくなったからです。風が強かったので、彼について走っていたのですが、本当は、人の後ろを走るのは好きではないんです。自分の力で走りたいと思った。でも、レースに勝つためには、そんな自己満足のプライドは必要ないと思いました。走れなかった6名の選手や部員全員のことを思うと、自分だけのレースではない、チームのレースなんだという思いが強くなりました。

—— ゴールしたときの気分は？

熊崎 早川たちがすごい笑顔で迎えてくれました。実は、10区を走るアンカーだけなんです、レースを走った選手に迎えてもらえるのは、それも、良い成績でゴールしないと、笑顔で迎えてもらえません。緊張感から解放されたあの瞬間は、心の中に一生残ると思います。襷の重みとチームで闘っていることの醍醐味を実感しました。

早川 帝京大学はチーム全体の総合力で勝つチームなので、特にそういうことを感じられるのだと思います。エース不在であることは、良い面でもあり悪い面でもあると思うけれど、全員が危機感を持って走っているんで、切磋琢磨できるチームだと思います。誰でも大会で走るチャンスがあるんです。その分、いい意味で予測がつかない。

—— 2013年度の箱根駅伝優勝に向けての思いを聞かせてください。

早川 チーム力で勝つためには、10人全員があるレベル以上に走れないとダメだと思います。その上でチャンスを見つけて上位を狙っていくチームなので、今度の闘いは厳しいものになると思います。自分たちの力を相当上げて、全員がエース並みの走りができるよう



CROSS TALK



熊崎健人×早川昇平

「箱根路の鼓動」

早川 走れるならどこでも良かったので、4区と言われれば4区を走るというだけのことでした。ただ、レースに関する事前情報はできるだけ耳に入れないようにしました。他のチームは誰が走るかとか、どんなコースかとか。変に知ってしまうと、キツくなくてもキツイと思ってしまうがちだし、ピギナースラックではないですが、いつもまっさらな気持ちで走りたいので。

—— 熊崎選手は、10区に選ばれたとき、どういう気持ちでしたか？

熊崎 意外でした。実は、1カ月前から1区を走るつもりでイメージトレーニングしていたので。しかも、あまり体調が良くない中で、レースの3日前に10区に決定したので、不安がありました。けれど、最終メンバーから外れた高松と阿南が、僕が最終的に出場できるか決めるための練習に、最後まで付き合ってくれて、僕がキレイに走れるようにアシストしてくれました。そのおかげで、最終メンバーに抜擢されたのですが、自分たちが出場できないと決まっていたのに、僕のためにどんな気持ちで走ってくれたんだろう、と思うと、2人のためにもチームに貢献しないといけないと思いましたが、改めて、駅伝はチーム競技なんだと思いました。

早川 熊崎はレースの直前まで調整していたんですよ。

熊崎 そうなんです。なので、早川のレースも見えていません(笑)。5区の小山さんが走っているのをテレビで見ても勇気をもらい、翌日、6区の千葉さんが駒澤大学と闘っている流れを作ってくれたのを見て、さらに勇気ももらってスタートラインに立てました。レースが始まってから、最初の1kmを2分50秒で走れたと分かり、自分の仕事ができそうだったので嬉しかったです。次に、3km過ぎて早稲田の選手

にならないと、上位3チームの壁は越えられないのではないかと覚悟しています。個人的には、大学に入ってから一度もケガをしたことがないので、この安定性を保ちつつ、伸び率をアップさせるために、熊崎のような勢いを取り戻したい(笑)と思います。

熊崎 優勝はそんなに甘いものじゃない。前回の駅伝も4位を狙って4位になったわけじゃないですし、運も作用したと思います。でも、監督が言う「帝京の夏合宿は日本一」という言葉は間違っていないから、という実感はあるので、今年はその中身をいかに充実させるかにかかっているのではないかと。昨年よりいかに進化させて今度の箱根駅伝に照準を合わせていけるか、が勝負だと思います。僕個人としては、他チームに脅威を感じてもらえる存在になりたいと思っています。前回の結果は偶然ではなかったのだと、本当に熊崎は強いんだ、だから勝てたんだと思われるように、「何をやっても強い熊崎」になりたいです。レースの結果を出すことが、応援してくれているすべての人への感謝の表現だと思うので。

早川 僕たちの学年が下級生をいかにリードして盛り上げていくか、チームメイトをどれだけ思いやるか、いかにチーム全体を考えて動けるようになるか、ということが大事だと思います。帝京大学は他校と比べて歴史は浅いですが、自分たちで伝統をつくっていく学校なので、やれることはたくさんありますから。





北国のモンスター 走って前に進む 雪国パワースタ 岩手の力
吉宮一騎 山崎歩 竹本新希

見えない勢 集大成 頑張っぺ 宮城!
角本 弘樹 小山司 今野泰平

負けるもんか 熱い走り enjoy! 元張る 襷手
樋口文朗 高橋昂 伊東 池田

No Rain No Rainbow 自信を持つ 克己心
篠原 巖井

最後まで あきらめない! 楽しむ!
高橋雅人 森田真平

鹿のように速く 俺も走る! がんばります。 加藤
定井俊樹

Keep Running 健康第一 強くなる 根性見せる!!
早川 黒川 宇佐美

走れ魂 走りて返す 勝る
近藤星一郎 田中健人 細瀨大雅

吉岡賢蔵 何苦楚魂 There is no time like the present
「今」ぞしよ! 藤原 涼 常勝 神谷涼

大都会 国分寺の星になる 自分に負けない!! 俺のもの!!
長谷川 裕 家永 野村雄一

Let's Go 帝京 大人になる It's a piece of cake
佐竹 高橋裕太

ごまめに水分補給 一心不乱 覚悟 速くなる 成せば死る
ガッパ 島口 金子 報恩感謝 篠原 熊崎健人

富士山から 元気を! 帝京魂
山中

義現でせざるは 勇無きなり
猪狩大樹

指原がトップ取った 俺も! シフト注意
向南堅也

我慢 優勝者 感謝
相ノ口 大介 高木祐作

柳原 No sugar No life
田邊

全力 Last Year 熱烈 峻巖! give me!!
藤波 高松

粘り強く 負けない!! 頑張るバテ! I am ほしー
高屋敷 栗田 穂





TEIKYO



UNIVERSITY SPORTS OFFICIAL YEARBOOK 2013

EKIDEN

2013年 帝京大学駅伝競走部 プレイヤーズリスト

Profile
 名前 学部・学科 出身校 出身地 身長 / 体重
 ①駅伝の魅力とは ②駅伝競走を通して学んだこと、成長できた点 ③気分転換はどのようにしていますか？
 ④「箱根駅伝」で走りたい区間・好きな区間は？ ⑤中野監督はどんな監督ですか？ ⑥2013年の目標
 ⑦自己ベスト 5000m / 10000m (2013年6月時点)

TEIKYO UNIVERSITY EKIDEN TEAM PLAYERS LIST 2013

近藤 星一郎
 Seichiro Kondo
 医療技術学部
 スポーツ医療学科
 日本大学東北高 福島県
 169cm / 55kg

- 「チームのために」という想いが力に変わる素晴らしいスポーツ
- 自分の力で何とかしようとする力が付いた
- ジョグする
- アンカー。ゴールテープを切りたいから
- 選手一人ひとりの意見を尊重して下さる
- メンバー入り
- 14分37秒 / 29分46秒

今関 海
 Kai Imazeki
 経済学部経営学科
 加藤学園高 静岡県
 176cm / 58kg

- 個人競技だけどチーム競技なところ
- 途中で投げ出さないこと
- 思いっきり気を抜く
- 6区、高校の先輩が皆走っているから
- 怪我などをしているときも声をかけてくれて心配してくれる
- 最後の年のつもりで死にもの狂いで走る
- 14分45秒 / ー

合宿所たれこみ情報① 合宿所の規則

- 消灯は22:00。部屋の外にあるスリッパで点呼をとる
- 合宿所内ではスリッパを必ず履く
- 歩きながらの音楽やiPodなどは禁止
- トラックまでの坂道では自転車禁止
- 関係者以外の出入り禁止

チーム内たれこみ情報

田村 拓真
 Takuma Tamura
 医療技術学部
 スポーツ医療学科
 加藤学園高 静岡県
 172cm / 53kg

- 情熱
- ひとつのことに向かって努力するというところ
- 部員と遊びに行く
- 10区は、ずっと走りたいと思っていた区間。6区は、ものすごいスピード感があり爽快感が好きな区間!
- 熱い人です!
- 駅伝で勝つ!
- 14分32秒 / 30分04秒

佐竹 雄太
 Yuta Satake
 医療技術学部
 スポーツ医療学科
 北見緑陵高 北海道
 172cm / 55kg

- タスキつなぎ
- 自分のことについて多少知ることができたし、考えるようになった
- 休日ぶらり
- 10区。ゴールにみんながいるから
- 選手一人ひとりをよく見ている監督
- 箱根
- 14分49秒 / ー

熊崎 健人
 Taketo Kumazaki
 医療技術学部
 スポーツ医療学科
 関西大学北陽高 兵庫県
 170cm / 56kg

- チーム全員で戦っている素晴らしい
- たくさんの人に支えてもらっているということ
- 買い物
- 1区、2区。チームに勢いをつけたい
- 熱い監督
- ハーフマラソン62分台、10000m28分台、5000m13分台
- 14分14秒 / 29分05秒

三年生 (19名)

千葉 一慶
 Kazuyoshi Chiba
 医療技術学部
 スポーツ医療学科
 川越南高 埼玉県
 167cm / 52kg

- 速さ=強さではないところ
- 辛抱強さ
- キャッチボール
- 山(5区または6区)。箱根を象徴する区間だから
- 視野が広い
- 箱根駅伝優勝。区間3位以内
- 14分44秒44 / 29分39秒57

高橋 昂
 Subaru Takahashi
 法学部法律学科
 加藤学園高 静岡県
 165cm / 55kg

- 絆
- 感謝の気持ち
- 寝る
- 全部。走りたいから
- 偉大な監督
- 駅伝メンバーになる
- 14分51秒 / 31分43秒

【主務】 今野 泰平
 Taihei Konno
 医療技術学部
 スポーツ医療学科
 古川工業高 宮城県
 174cm / 62kg

- 孤独だけど、一人じゃない
- 人とのつながり。我慢すること
- 野球。ぶらり旅
- 全区間。10区間すべてにそれぞれの魅力・ドラマがある
- 人間力の塊
- 箱根駅伝優勝。がんばろう東北!
- ー / ー

蛭名 聡勝
 Toshikatsu Ebina
 医療技術学部
 スポーツ医療学科
 光星学院高 青森県
 178cm / 61kg

- ドキドキが止まらない
- 我慢
- ゲーム
- 1区。最初の流れを作る大事な区間だから
- すごい監督
- 楽しい年にするためにやるべきことをやる
- 14分05秒 / 28分42秒

四年生 (15名)

佐藤 真路
 Shinji Sato
 医療技術学部
 スポーツ医療学科
 恵庭南高 北海道
 166cm / 52kg

- 絆
- 道徳と協調性
- 思い切り遊ぶ
- 9区。順位に大きく関わるので
- 部を一番に考えてくれる監督
- 力をつけ飛躍
- 14分45秒36 / ー

黒川 滉平
 Kohei Kurokawa
 医療技術学部
 スポーツ医療学科
 西条農業高 広島県
 167cm / 52kg

- 絆
- 継続は力なり。仲間の大切さ
- カラオケ
- 9区。復路のペース区間だから
- 信頼してついていける存在
- 自己ベスト大幅更新。もっと上のレベルで戦えるようになる
- 14分46秒 / ー

栗田 嶺
 Rei Awata
 医療技術学部
 スポーツ医療学科
 熊本工業高 熊本県
 175cm / 53kg

- 想いもつなくところ
- 諦めない大切さ
- 写真を撮りにいく
- 5区、8区。上りの走りに自信があるから
- 熱い監督
- 結果を出す
- 14分37秒 / 30分31秒

【主将】 難波 幸貴
 Koki Nanba
 医療技術学部
 スポーツ医療学科
 東京学館新潟高 新潟県
 164cm / 53kg

- 一体感がある
- コミュニケーション能力
- みんなと会話
- 9区。復路のペース区間だから
- 父親のような指導者
- 三大駅伝快走
- 14分03秒 / 29分12秒

田中 健人
 Kento Tanaka
 文学部教育学科
 佐賀北高 佐賀県
 164cm / 48kg

- 「想い」をつなぐところ
- ー
- お気に入りの洋服を着る
- 10区。走ったことがないから
- 母親のような
- チームに貢献する
- 14分24秒 / 28分45秒

新谷 壮大
 Akihiro Shintani
 医療技術学部
 スポーツ医療学科
 福山葦陽高 広島県
 178cm / 59kg

- きつい顔が勇気をくれる
- やるのは自分自身ということを学んだ
- 音楽を聴く
- どこでも。どの区間も必ず必要で大切だから
- 厳しさの中に優しさを兼ねている監督
- 恩返し
- 14分37秒 / 30分36秒

【副主務】 川島 宗
 Shu Kawashima
 医療技術学部
 スポーツ医療学科
 國學院大学栃木高 栃木県
 167cm / 65kg

- 見ている人に感動を与えることができる
- たくさんの方々からの協力や応援があって駅伝ができるということ。困難を乗り越えていく忍耐力がついた
- 休日にゆっくりジョギングする
- 2区。各大学のペースが走り順位変動が激しいから
- 競技だけでなく人間を教育してくれる監督
- 第90回東京箱根間往復大学駅伝競走 優勝
- ー / ー

猪狩 大樹
 Daiki Igari
 医療技術学部
 スポーツ医療学科
 日立工業高 茨城県
 173cm / 56kg

- 一言では表せない
- 人は誰かのためなら頑張れる
- 散歩する
- こだわりはない。どこでも区間賞をとる
- 人間味にあふれた人
- 強いだけの人にならない
- 14分26秒08 / 29分51秒72

篠原 啓輔
 Keisuke Shinohara
 医療技術学部
 スポーツ医療学科
 大牟田高 福岡県
 169cm / 50kg

- 長い
- 闘争心を覚えた
- マキシマムザホルモンの曲を聴いて刺激を与える
- 任された区間ならどの区間でも走ります
- とても偉大な方
- 学生三大駅伝すべてに出場してチームに貢献する
- 14分29秒 / ー

小柳 誉
 Homare Koyanagi
 医療技術学部
 スポーツ医療学科
 広島皆実高 広島県
 173cm / 61kg

- チーム力が試されるところ
- すべての物事がつながっているところ
- うまいものを食べる!
- 5区。箱根駅伝の醍醐味だから
- ユーモアとさこみがある監督
- 駅伝メンバー入り
- 14分54秒 / ー

伊東 拓
 Taku Ito
 医療技術学部
 スポーツ医療学科
 一関学院高 岩手県
 168cm / 56kg

- ドラマがある
- 私生活が走りにつながる
- 外出する
- 8区。アップダウンが多くタフなコースだから
- ユーモアのある監督
- 自分の可能性を広げる
- 14分45秒 / 31分19秒

長谷川 瑞貴
 Mizuki Hasegawa
 医療技術学部
 スポーツ医療学科
 西武学園文理高 東京都
 178cm / 58kg

- 陸上競技なのにチームプレー
- 我慢
- 遊びまくる
- どの区間でも全力で走る
- 漢
- 身長を伸ばす
- 14分46秒 / 30分12秒

谷口 翔哉
 Shoya Taniguchi
 文学部社会学科
 洛南高 京都府
 166cm / 52kg

- 感動
- 忍耐力
- 買い物
- 5区。今井さん(順天堂大)の走りを見て感動したから
- 見えないように実は個々の特徴を見抜いている
- 楽しむ
- 14分43秒 / 29分51秒

高木 祐作
 Yusaku Takaki
 医療技術学部
 スポーツ医療学科
 鎮西高 熊本県
 182cm / 61kg

- ー
- いろいろな人と出会って人間関係の大切さを学んだ
- 音楽を聴く。缶コーヒーを飲む
- ー
- ー
- 毎日努力!!
- 14分34秒 / ー

小山 司
 Tsukasa Koyama
 医療技術学部
 スポーツ医療学科
 武蔵越生高 埼玉県
 168cm / 51kg

- 熱い
- 仲間の大切さ。忍耐力
- お喋り
- 5区。帝京大学記録更新
- 穏やかそうに見えて実は...
- 笑顔で終われる年にする
- 14分22秒 / 28分46秒

池田 圭吾
 Keigo Ikeda
 文学部教育学科
 那須拓殖高 栃木県
 173cm / 56kg

- 選手の息が聞こえるくらい近くで応援ができる
- 感謝することを学び精神的に強くなった
- 料理をしている
- 10区。9人が走ってきた分の汗と駅伝競走部員の想いが詰まった棒を持ってゴールテープを切るから
- 大学最後の年なのですべてのことに全力を尽くす
- 14分38秒 / 30分19秒

一年生 (15名)

山中 建人
Kento Yamanaka
経済学部経済学科
富士東高 静岡県
182cm/64kg

- ①沿道の声援の多さ
- ②チームメイトの大切さ
- ③おしゃれなカフェに行く
- ④4区。湘南の海風を感じられるから
- ⑤ユニークな監督
- ⑥爽やかな汗を流す
- ⑦14分37秒62/—

原 由樹人
Yukito Hara
医療技術学部
スポーツ医療学科
東京学館新潟高 新潟県
162cm/48kg

- ①絆
- ②感謝することの大切さ
- ③海岸ミッドナイト
- ④1区。集団で走れるから
- ⑤東京のお父さん
- ⑥辛くなくても声を出さない
- ⑦14分41秒/30分09秒

高橋 裕太
Yuta Takahashi
医療技術学部
スポーツ医療学科
武蔵越生高 埼玉県
170cm/57kg

- ①駆け引き
- ②責任感
- ③好きな曲を聴く
- ④1区。よいいどん!の勝負がしたい
- ⑤熱い
- ⑥結果を出す
- ⑦14分39秒/29分55秒

岩間 俊友
Shunsuke Iwama
医療技術学部
スポーツ医療学科
西武台千葉高 千葉県
167cm/48kg

- ①襷にかける個々の想い
- ②苦しいの先に喜びがある
- ③週末のお出かけ
- ④7区
- ⑤選手の考えを尊重する(してくれる)監督
- ⑥涙のない選手になること
- ⑦14分37秒/30分17秒

柳原 貴大
Takahiro Yagihara
経済学部経済学科
会津学風高 福島県
174cm/50kg

- ①逆転劇
- ②辛抱
- ③外出
- ④9区。去年のキャプテンの穴を埋めたいから
- ⑤時に厳しく、時に優しい
- ⑥—
- ⑦14分18秒/29分29秒

野下 滉貴
Koki Noge
医療技術学部
スポーツ医療学科
鳥栖高 佐賀県
179cm/66kg

- ①頑張っている感じが伝わる
- ②我慢ができるようになった
- ③カラオケ
- ④1区
- ⑤選手のことをいろいろ考えている監督
- ⑥箱根駅伝を走る
- ⑦14分52秒/31分19秒

杉山 連哉
Renya Sugiyama
医療技術学部
スポーツ医療学科
西湘高 神奈川県
169cm/56kg

- ①喜びを分かち合えること
- ②考える能力
- ③映画鑑賞や買い物
- ④4区、7区。地元だから
- ⑤選手をよく見ている監督
- ⑥速い選手より強い選手へ!
- ⑦14分21秒52/29分40秒37

家永 聖矢
Seiya Ienaga
医療技術学部
スポーツ医療学科
柏高 千葉県
182cm/59kg

- ①絆
- ②助け合うこと
- ③甘いものを食べる
- ④1区。子どものときからの夢
- ⑤一人ひとりのことをよく考えている監督
- ⑥自己ベスト更新
- ⑦14分45秒/—

吉岡 賢蔵
Kenzo Yoshioka
医療技術学部
スポーツ医療学科
関西大学北陽高 大阪府
167cm/53kg

- ①誰でも輝ける
- ②徐々にだらしなくなってきた
- ③「もう遊ばない!」っていうくらい遊ぶ
- ④5区、6区。子どものころTVで見ていて印象的
- ⑤めっちゃ選手のことを見てくれる監督
- ⑥安定した強さを身に付ける
- ⑦14分51秒/30分54秒

樋口 史朗
Shiro Higuchi
医療技術学部
スポーツ医療学科
加藤学園高 静岡県
167cm/52kg

- ①チーム力の集大成
- ②チームや周りの人のために何が出来るか考えるようになった
- ③サイクリング
- ④6区
- ⑤優しくも厳しい監督
- ⑥勝負に勝つ
- ⑦14分58秒/33分11秒

竹本 紘希
Hiroki Takemoto
経済学部経済学科
一関学院高 岩手県
171cm/52kg

- ①結束力
- ②我慢強くなれた
- ③出かけるか音楽を聴く
- ④8区。去年の悔しさを晴らしたいから
- ⑤よく見ている監督
- ⑥実績を残す
- ⑦14分34秒77/30分51秒22

君島 亮太
Ryota Kimishima
経済学部経済学科
那須拓殖高 栃木県
165cm/50kg

- ①走る人は一人だがチームで戦うスポーツ
- ②がむしゃらに走るのではなく頭を使って走る
- ③買い物や町探索
- ④6区。すごいスピードで山を下りたい
- ⑤優しくても厳しい
- ⑥全種自己ベスト
- ⑦14分35秒22/30分52秒

合宿所たれこみ情報②
プライベートルーム

部員2人で1部屋を使用します。部屋持ちと呼ばれる上級生と下級生で1組。共同生活の影響が趣味が似ること...

チーム内たれこみ情報

早川 昇平
Shohei Hayakawa
医療技術学部
スポーツ医療学科
東北高 宮城県
173cm/60kg

- ①人間味
- ②生き方
- ③本を読んだり趣味に没頭。友人と買い物とか遊びに行ったり
- ④走ることができればどこでも
- ⑤人生の大先輩
- ⑥勝てないときは負けられない努力
- ⑦14分07秒/29分12秒

高橋 勝哉
Katsuya Takahashi
経済学部経営学科
東北高 茨城県
170cm/50kg

- ①阿鼻叫喚のカオス
- ②柔軟になることが大事ということ
- ③カラオケやスタジオでアングス・ヤングになりきる
- ④1区、6区。そこが合っている気がする
- ⑤大きな人間です
- ⑥箱根駅伝を走ることだけ
- ⑦14分16秒/29分43秒

宇佐美 聖也
Seiya Usami
医療技術学部
スポーツ医療学科
白石高 佐賀県
170cm/61kg

- ①タスキ
- ②感謝の気持ち
- ③映画を見る
- ④10区!! 区間記録を出したい
- ⑤履きそうに見えて実はコワい
- ⑥継続して練習をする
- ⑦14分42秒/—

吉富 一騎
Kazuki Yoshitomi
経済学部経営学科
室蘭大谷高 北海道
173cm/57kg

- ①孤独であるが、そうではないところ
- ②最大の敵は自分、困難に打たれ強くなったと思う。調子の良い悪いに一喜一憂しない
- ③休日に普段はできないこと、やらないことをしてフレッシュな気持ちになる
- ④3区。つなぎの区間と位置づけられているが序盤で勢いづくには大事な区間。風に負けない強さを発揮したい
- ⑤選手一人ひとりに「気付き」を与える監督
- ⑥己に勝つこと
- ⑦14分56秒/—

藤原 涼
Ryo Fujiwara
経済学部経営学科
興譲館高 広島県
179cm/61kg

- ①踏襲反目
- ②人間力
- ③音楽を聴く
- ④4区。吉富からタスキを受け取るから
- ⑤選手の鑑
- ⑥三大駅伝の上位入賞
- ⑦—

堤 悠生
Yusei Tsutsumi
医療技術学部
スポーツ医療学科
西条農業高 広島県
174cm/60kg

- ①何が起るかわからないところ
- ②我慢すること、努力すること
- ③エレキベースを弾くこと
- ④7区。役割を果たせようと思うから
- ⑤勝ち方を教えてくれる監督
- ⑥トラックで記録を出す!! 箱根駅伝区間上位で走る!!
- ⑦14分35秒/29分48秒

定井 俊樹
Toshiki Sadai
医療技術学部
スポーツ医療学科
清風高 奈良県
176cm/60kg

- ①見れば分かりませ!
- ②仲間と大切さ
- ③映画鑑賞
- ④6区。流れを作る大事な区間だから
- ⑤実は熱い人
- ⑥日々成長
- ⑦14分42秒35/30分06秒82

二年生 (16名)

干場 光将
Kosuke Hoshiba
医療技術学部
スポーツ医療学科
遊学館高 石川県
173cm/59kg

- ①ラストパート
- ②団結力
- ③一人で出かける
- ④10区。チラ見スパートをするため
- ⑤熱い監督
- ⑥限界への挑戦!
- ⑦14分22秒/30分07秒

高松 伸伍
Shingo Takamatsu
経済学部経済学科
作新学院高 栃木県
172cm/55kg

- ①緊張
- ②協調性
- ③遊ぶ
- ④3区。なんとなく
- ⑤すごい人
- ⑥箱根路を走る。13分!!
- ⑦14分16秒/29分44秒

内田 直斗
Naoto Uchida
経済学部経済学科
柏高 千葉県
176cm/58kg

- ①一人がいくら強くても勝てないところ
- ②責任感
- ③抹茶パフェを食べてリラックスする
- ④任された区間をしっかり走りたい
- ⑤選手一人ひとりをよく見てくれる
- ⑥怪我をせず走り込む
- ⑦14分45秒/31分46秒

合宿所たれこみ情報③
食事環境

帝京大学スポーツ医科学センターのサポートで所属の管理栄養士がメニューを考えてくれています。朝食と夕食は構内の学食で、希望者のみ昼食も弁当を注文することができます。また合宿所内の厨房で自炊も可能です。

チーム内たれこみ情報

山崎 涉
Wataru Yamazaki
医療技術学部
スポーツ医療学科
松戸高 千葉県
171cm/59kg

- ①団体戦
- ②仲間と高め合うこと
- ③ご飯を食べる
- ④山の区間。魅力があるから
- ⑤強かな監督
- ⑥主力メンバーになる
- ⑦14分46秒/30分19秒

野村 雄一
Yuichi Nomura
医療技術学部
スポーツ医療学科
光明学園相模原高 神奈川県
166cm/56kg

- ①箱根駅伝の観客の多さ
- ②忍耐力
- ③服を貰うか、寝るか、カラオケに行くか、パソコンをいじる
- ④1区。目立つから
- ⑤練習に関しては嘘をつかない
- ⑥頑張りどころを間違えない
- ⑦14分49秒/30分52秒

高橋 雅人
Masato Takahashi
医療技術学部
スポーツ医療学科
東海大学山形高 山形県
172cm/60kg

- ①団結力の強さが結果に現れるところ
- ②仲間や家族の大切さ・有難さ
- ③出かける
- ④どの区間で
- ⑤熱い心を内に秘めている方
- ⑥諦めない
- ⑦14分56秒/31分21秒

阿南 堅也
Kenya Anan
医療技術学部
スポーツ医療学科
大分東明高 大分県
172cm/52kg

- ①楽しい。きついけど...
- ②人として成長できた。たぶん...
- ③買物をしてたりボーリングをしたりカラオケに行ったり
- ④1区→流れを作る大事な区間だから。2区→チームのペースが走る区間だから
- ⑤かっこいい
- ⑥箱根駅伝出走。チームに貢献!!
- ⑦14分21秒07/29分37秒99

嶺井 雄宇
Yu Minei
法学部法律学科
コザ高 沖縄県
169cm/55kg

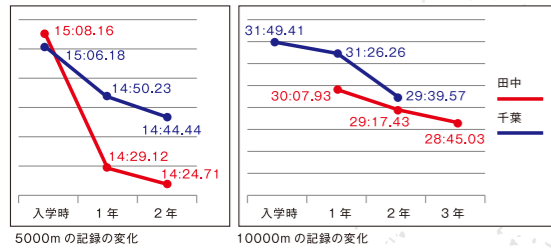
- ①深みがある
- ②世の中うまくいかないことが多い。メンタル面
- ③散歩
- ④10区。チラ見したいから
- ⑤熱い
- ⑥勝負の年
- ⑦14分37秒/29分59秒

田邊 篤
Atsushi Tanabe
医療技術学部
スポーツ医療学科
恵庭南高 北海道
168cm/55kg

- ①—
- ②いろいろなる人がいるなど学んでいます
- ③一年生の仕事をする
- ④5区。藤原からタスキを受け取るから
- ⑤人の姿をした神と伺っています
- ⑥部室に掲示していること。2012年の失敗をしない。2014年に向けて失敗を忘れない
- ⑦—

(記録の単位は、分・秒)

	田中 健人				千葉 一慶			
	5000m	成長率	10000m	成長率	5000m	成長率	10000m	成長率
入学時	15:08.16		31:49.41		15:06.18		31:48.41	
1年	14:29.12	165.1%	30:07.93		14:50.23	126.6%	31:26.26	138.6%
2年	14:24.71	107.4%	29:17.43	184.2%	14:44.44	109.7%	29:39.57	277.8%
3年			28:45.03	154.0%			28:45.03	
		172.5%		238.2%		136.3%		216.4%



入学時は15分台ランナーだった二人ですが、**千葉** 劣等感みたいなものを感じていなかったといったら嘘になりますが、タイム自体はあまり気にしていませんでした。練習をやっていたら自然とついてくるだろうと思っていましたし、高校時代に出す機会が少なかったこともあり、それよりも大学に入ってから自分よりもレベルの高い選手と一緒に練習できることが嬉しかったです。

田中 周りを見ていたらみんな速いなあと

思っていました。ですが、元々そのような環境を求めてきたので、自分の可能性がどこまであるか、この環境で自分自身がいかに成長し、競技力を向上させていけるか楽しみでした。

—— 当時と今の心境の違いについては？

千葉 入学した頃はがむしゃらにやっていた感じでしたね。ただやらされている感じで工夫も何もありませんでした。今は良くも悪くも冷静になり、自分で考えてやろうとしていきます。同じ練習でも自分で考えてやることによって効果が変わってきますから。あと昔よりももっとタイムを気にしなくなりました。自己ベストで勝ち負けが決まるわけではないので。

田中 当時は周りに引く張られてばかりでしたが、タイムも伸び、箱根を走り、最上級生になったことで、引く張っていかなくてはいけな思っています。そして少しでもチームの力、助けになりたいと思っています。

—— これまでの成長の原動力になったものは？

千葉 箱根駅伝を走るという強い思いです。本気で信じていければ願いは叶うと思います。

田中 自分の可能性にチャレンジしていく気持ちと応援してくださっている方々へ走りて恩返ししたい思いですね。

入学時の自分自身にエールを送るとしたら、**千葉** 「『ゴール(目標)のイメージをしっかりと

【帝京大学駅伝競走部 今昔物語】

田中健人 × 千葉一慶

(4年・佐賀北高卒) × (4年・川越南高卒)

「あの頃、君は若かった」

取材文 帝京大学駅伝競走部
写真 真志賀由佳
Photo by Yuka Shiga

昨年の箱根駅伝で1区を走り、総合4位の流れを作った田中健人。同じく箱根6区の下下りで力を発揮し、区間3位になった千葉一慶。帝京大学入学後、急成長した二人に、これまでの大学3年間の過ごし方について聞いた。

持てですかね」
田中 「その時々で自分自身、そして陸上競技に全力で向き合ってきたからこそ今の自分があると思っています。ですから今の自分から

入学時の自分に伝えることはありません。とにかく中野監督、村上コーチを信じて頑張るのみです！」

Kazuyoshi Chiba

Kento Tanaka



合宿所たれこみ情報④

リラックスルーム

合宿所内にあるリラックスルームでは週1回、高岡尚司トレーナーの治療を受けることができます。単なる治療だけでなくさまざまな悩みを打ち明けられることができます。完全予約制です。

チーム内たれこみ情報

- #### 【チームスタッフ】
- コーチ 村上泰弘 (帝京大学職員)
 - コーチ 長谷孝治 (都立足立東高等学校教諭)
 - コーチ 町田勇樹 (帝京大学駅伝競走部)
 - トレーナー 高岡尚司 (エフエイト Bodywork Lab)

馬場 勇

Yu Baba
医療技術学部
スポーツ医療学科
広島国際学院高 広島県
175cm/60kg

- ①タスキリレーのときの想いを取ったリレー選手
- ②どんなことでもすぐに投げ出さずに自分ができる最大限を出せるようになってきた
- ③音楽ゲームをする。カラオケで発歌
- ④6区、10km以上下るスピード感を味わいながら走れそうだから
- ⑤よく見てくれていると思います。明るく楽しい印象を受けるのでこれらが楽しみ
- ⑥10000m30分切り。箱根のメンバーに入る。それまでに怪我をしない
- ⑦14分41秒/ー

島口 翔太郎

Syotaro Shimaguchi
医療技術学部
スポーツ医療学科
滝川西高 北海道
168cm/48kg

- ①つなぐこと
- ②我慢すること
- ③音楽を聴く、カラオケ
- ④6区を走りたい。下りが好きだから
- ⑤選手一人ひとりに目を配れる素晴らしい監督
- ⑥あるときは厳しく、あるときは優しい
- ⑦自己ベスト大幅更新!
- ⑧14分54秒/ー

角本 弘樹

Hiroki Kakumoto
法学部法律学科
世羅高 広島県
177cm/63kg

- ①絆
- ②我慢すること
- ③音楽を聴く、カラオケ
- ④6区を走りたい。下りが好きだから
- ⑤選手一人ひとりに目を配れる素晴らしい監督
- ⑥速い選手ではなく強い選手になれるよう練習を毎日こなす
- ⑦14分54秒/ー

林田 真幸

Masayuki Hayashida
経済学部経済学科
鎮西高 熊本県
170cm/56kg

- ①完走したときの達成感!
- ②周りのたくさんの人に支えられているんだということ
- ③ヤマダ電機のマッサージチェア
- ④10区。ゴールテープが好きだから
- ⑤言葉では言い表せない
- ⑥陰から三大駅伝のメンバーを狙う
- ⑦14分44秒/ー

瀬戸口 文弥

Fumiya Setoguchi
医療技術学部
スポーツ医療学科
鹿児島商業高 鹿児島県
172cm/55kg

- ①絆
- ②精神力
- ③音楽を聴く
- ④1区。重要な区間だから
- ⑤大きな監督
- ⑥弱い自分に負けたい。ベスト更新
- ⑦14分44秒/ー

加藤 勇也

Yuya Kato
医療技術学部
スポーツ医療学科
歯科大付属有斗高 北海道
164cm/47kg

- ①何が起るかわからないこと
- ②責任感
- ③ゲームをする
- ④1区。流れを作る大事な区間だから
- ⑤大きな監督
- ⑥怪我をしないで先輩たちに少しでも近づくこと
- ⑦14分55秒42/ー

保倉 聡

Satoshi Hokura
医療技術学部
スポーツ医療学科
佐久長聖高 長野県
173cm/64kg

- ①苦しい練習を乗り越えて全員でタスキをつなぐ!
- ②時期の使い方が上手になった。諦めないことを学んだ
- ③出かけに行く
- ④6区→一度どんな風になるのか走ってみたい。10区→アンカーという大切な区間を任される選手になりたい
- ⑤普段は穏やかに見えるがその眼光是鋭く選手一人ひとりをよく見ている
- ⑥土台を作って上級生を刺激して、箱根のメンバーに絡んでいきたい
- ⑦14分38秒61/ー

高屋敷 光生

Koki Takayashiki
医療技術学部
スポーツ医療学科
光明学院高 青森県
174cm/55kg

- ①ひとむきな努力が生む感動
- ②駅伝でしかできないチームワーク
- ③どりあえず食べて体を動かす
- ④10区。ゴールテープを切りたい
- ⑤一言一言の言葉が深く選手想いの監督
- ⑥しっかりと走り込む
- ⑦14分53秒/ー

金子 優作

Yusaku Kaneko
医療技術学部
スポーツ医療学科
光明学院相模原高 神奈川県
167cm/60kg

- ①一人じゃないこと。チームスポーツだから面白い
- ②忍耐力
- ③休みの日にゴロゴロする
- ④5区。山なりに挑戦したいから
- ⑤チームの一人ひとりのことを考えてくれている監督
- ⑥一日一日を大切に
- ⑦14分56秒/31分39秒

細瀨 大雅

Taiga Hosobuchi
医療技術学部
スポーツ医療学科
前橋育英高 群馬県
170cm/53kg

- ①チームの結束力
- ②忍耐力
- ③音楽を聴く
- ④10区。良い順位でゴールテープを切りたいから
- ⑤信頼できる監督
- ⑥積極的な走りをしてベスト更新
- ⑦15分02秒/ー

中原 拓胤

Hirotsugu Nakahara
医療技術学部
スポーツ医療学科
大分東明高 大分県
166cm/50kg

- ①ごぼう抜き
- ②感謝の気持ち
- ③ショッピング。食べる
- ④1区。早く終わるから
- ⑤選手一人ひとりをしっかり見てくれている
- ⑥継続練習
- ⑦14分47秒/ー

神谷 涼

Ryo Kamiya
経済学部経済学科
浜北西高 静岡県
168cm/56kg

- ①一人だけ一人じゃない!!
- ②折れない心
- ③外食または買い物
- ④5区。宮ノ下の応援がスゴイから
- ⑤選手一人ひとりをしっかり見てくれている
- ⑥仕事をしっかりとミスなくこなす
- ⑦16分05秒/ー

ある選手に、中野監督を指導者としてどう思うか？と尋ねたら、即座に、「部員一人ひとりを全員分けへだてなくちゃんと見てくれていた。だから、どんなに辛くて苦しいときでも頑張れる」と答えた。

「それは、うちにエースがいらないから、全員を見るんです」と監督。その真意は、「全員がエースになり得る選手たちだから。隠れた素材がたくさんいるのが、帝京大学駅伝競走部の特長だと思います。本人にも、そして私にも分からない力を秘めている。『こんな力があつたのか』と、やってみて初めて分かる。そういうことがいつでも起こり得るチームだから、目が離せません」。監督は「ただそれだけのこと」と当然のように言うが、65名が在籍する駅伝競走部、その一人ひとりに目を配り、状態を把握し、それぞれに必要な言葉をかけ、そして時には黙って見守る——それは、言葉にするほど簡単ではなく、想像するほど当たり前のようにどの監督にも期待できることではない。「高校時代すでに才能が開花した選手というのは、ある意味、クルマのリミッターのようなものを自分で外せているか、もしくは、そのレ

か？と尋ねると、「箱根駅伝に関しては、シナリオは書けない」と監督は言う。「なぜなら、理屈だけでは計算できない、選手の心理的な面が大きく作用するレースだから。これは走ったものには分からないですが、どのレースとも比べようのない、とてつもないプレッシャーを感じる特殊なレースなのです。レース自体も年々、進化・進歩していて難しくなっています。今日うまくいったからといって、明日もうまくいくとは限らない。だからこそ、確証のない優勝も狙えると思っています」。前回の箱根駅伝の結果を、「たまたま」と評する中野監督だが、その結果を生みだすまでの選手選定は、まるでジグソーパズルを完成させていくような緻密な作業だったという。一つづつピースを組み合わせていき、少しずつ調整して、最後のピースがびつたりはまった。監督としては自らを勝利師だと称するが、「負けるゲームは絶対にしてはならない。負ける要素があるなら、徹底的に取り除きます。無謀な冒険はしないでですね。石橋は、何度も何度も叩いて、

壊してしまうぐらいの人間ですから」と笑う。前回の箱根駅伝で話題になった10区の熊崎起用についても、勝算があつたのか？と聞くと、「どういうレース展開になったとしても、自分の役割を果たす選手だと見込んでいました。面白いレースをしてくれるだろうと。でも、その思いはどの選手に対しても同じです」と監

取材文 楠原 安夕香

Text by Ayaka Kusuhara

帝京大学駅伝競走部の監督に就任して7年。昨シーズン、箱根駅伝で4位入賞し、箱根駅伝シード権を獲得した駅伝競走部の今について、中野監督に話をうかがった

箱根駅伝も 人生の通過点のひとつ



INTERVIEW

勝負は社会に出てから

帝京大学駅伝競走部監督

中野孝行

ベルが高い選手なのです。一方、このチームに入ってくる選手は、大抵の場合、リミッターを外せていない、もしくは、外すことができない。だから、選手には練習のとき「リミッターを外せ」と言う。どんな性能があるのか、知りたいから（笑）性能が分かってくると初めてレース展開をイメージできます」

では、今季のチームの性能レベルはどんな感じなのか？「それについては、まだ見えない」と一言。それでは、昨シーズンの箱根駅伝のレース展開は、シナリオどおりだったのか？

「駅伝は平和なイメージがあると思いますが、私は格闘技だと思っています。やられたらやり返す、ふらふらになっても、最後の力を振り絞ってジャブを繰り出せる、そういう魂のこもったレースができる熱くなる選手が、最後はやっぱり強い」

でもね、と監督は続ける。「箱根駅伝に出場できなくても、レギュラーになれなくても、負けではないんです。箱根駅伝4位という成績も、帝京大学駅伝競走部での4年間も、長い人生において通過点のひとつ。社会に出たあと、どういう人生を歩み、社会に貢献していくか。社会に出れば、前線ではなく裏で支えている人の方が多い。そのときに、自分としての役割をどう果たしているのか。私は駅伝競走部の監督ではあるけれども、人のため、日本のためになれる人材を育てるつもりで指導しています。これは取材で話を聞くたびに繰り返される、中野監督の揺るぎない教育信念である。中野監督の指導の下、4年間の大学生活を過ごし、人間として充実し大きく成長する選手たちを目的に育てるにつけ、この時期に監督のような指導者に出会えた学生たちをうらやましく思う。

T



PROFILE

なかの たかゆき Takayuki Nakano

1963年生まれ。北海道出身。

帝京大学スポーツ医科学センター専任講師。

国士館大学で箱根駅伝に4年連続出場。卒業後は雪

印乳業に入社して選手として活躍。引退後に三田工業

女子陸上競技部、特別支援学校の教員、NEO陸上競

技部のコーチを務め、2005年から帝京大学駅伝競走

部の監督に就任した。



1月2日—3日 第89回東京箱根間往復大学駅伝競走 東京箱根間往復

Table with columns: 帝京大学, 総合(217.9km), 往路(108.0km), 復路(109.9km), 選手名, 学年, 時間, 区間, 順位

2月10日 第48回千葉国際クロスカントリー大会 昭和の森

Table with columns: 一般男子12km, 一般男子4km, 選手名, 学年, 時間, 順位

2月17日 第37回中日浜名湖一周駅伝競走大会 浜名湖一周

Table with columns: 帝京大学A, 帝京大学C, 帝京大学B, 選手名, 学年, 時間, 区間, 順位

3月3日 第16回日本学生ハーフマラソン選手権大会 陸上自衛隊立川駐屯地~国営昭和記念公園

Table with columns: 選手名, 学年, 時間, 順位

4月6日 第1回国土館大学競技会 国土館大学多摩陸上競技場

Table with columns: 選手名, 学年, 時間, 区間, 順位

4月20日 第61回兵庫リレーカーニバル 神戸ユニバー記念競技場

Table with columns: 10000m, 選手名, 学年, 時間, 総合, 順位

4月27日—28日 第2回国土館大学競技会 国土館大学多摩陸上競技場

Table with columns: 1500m, 5000m, 選手名, 学年, 時間, 区間, 順位

5月6日 第152回東海大学長距離競技会 東海大学湘南校陸上競技場

Table with columns: 1500m, 5000m, 選手名, 学年, 時間, 区間, 順位

5月12日—13日 第230回日本体育大学長距離競技会 日本体育大学健志台陸上競技場

Table with columns: 1500m, 5000m, 10000m, 選手名, 学年, 時間, 区間, 順位

5月12日—13日 第230回日本体育大学長距離競技会 日本体育大学健志台陸上競技場

Table with columns: 1500m, 5000m, 10000m, 選手名, 学年, 時間, 区間, 順位

5月18、19、25、26日 第92回関東学生陸上競技対校選手権大会 国立競技場

Table with columns: 1500m, 選手名, 学年, 時間, 2部予選, 順位

19日 国立競技場

Table with columns: 3000mSC, 選手名, 学年, 時間, 2部予選, 順位

Table with columns: 10000m, 選手名, 学年, 時間, 2部決勝, 順位

25日 日産スタジアム

Table with columns: 3000mSC, 選手名, 学年, 時間, 2部決勝, 順位

26日 日産スタジアム

Table with columns: ハーフマラソン, 選手名, 学年, 時間, 2部決勝, 順位

6月8日 第41回平成国際大学競技会 鴻巣市営陸上競技場

Table with columns: 5000m, 選手名, 学年, 時間, 区間, 順位

6月23日 2013日本学生陸上競技個人選手権大会 Shonan BMW スタジアム平塚

Table with columns: 3000mSC, 選手名, 学年, 時間, 総合, 順位

6月30日 秩父宮賜杯第45回全日本大学駅伝対校選手権大会 関東学生陸上競技連盟推薦校選考会 国立競技場

Table with columns: 10000m, 選手名, 学年, 時間, 総合, 順位

5000m歴代50傑 H25.7.2現在

Table with columns: 順位, 名前, タイム, 大会名, 場所, 日付

10000m歴代50傑 H25.7.2現在

Table with columns: 順位, 名前, タイム, 大会名, 場所, 日付

(記録の単位は、分：秒)

(記録の単位は、分：秒)

挑み続ける アスリートへ。

トップコンディションを整えろ。

1秒を、1cmを争う、アスリートの世界。
その僅かな差を縮めるために、あらゆる努力を惜しまない。
限界へのチャレンジ—過酷なトレーニングを
続ける肉体に欠かせないもの、それは毎日のボディケアだ。
さあ肉体を磨き、コンディションを整えろ。
最高のコンディションにこそ最高のパフォーマンスは宿る。



RAKUWAネックX50
□サイズ/
45cm,55cm,65cm
□カラー/全6色
¥2,940(税込)



パワーテープ X30
□50marks
¥1,050(税込)
パワーテープ
□70marks
¥735(税込)



ウォーミングアップジェル
□110g
¥1,575(税込)
リラックスジェル
□110g
¥1,575(税込)



e-water
イー・ウォーター
□120ml
¥1,260(税込)
□480ml
¥3,465(税込)



SELECT PHOTO



「お正月の駅伝競走部、ラグビー部の応援をきっかけに学内をひとつにしよう」というコンセプトで始まったレッドプロジェクト。一般学生から集まった寄せ書きの応援幕を目にして部員たちのヤル気もアップ。箱根での快走を誓った(Nagata)

編集

永田 遼太郎
片山 佐知子 (スリーライト)
田中 自夢 (スリーライト)

撮影

川本 聖哉
志賀 由佳

デザイン

伊藤 博樹 (イトワークス)

印刷

スリーライト

発行

帝京大学本部 広報課
東京都板橋区加賀 2-11-1
<http://www.teikyo-u.ac.jp>

本誌掲載記事、写真等の無断複写・複製・転載を固く禁じます。
© TEIKYO UNIVERSITY 2013

From EDITOR

強豪という言葉には、伝統という言葉が付随する。それは、強豪が1年やそこらでつくられないことを物語る。本誌でも紹介している早川昇平君はインタビューの中で、「伝統は自分たちでつくれる」と語った。早川君が4区を走った前回の箱根で、編集子は伝統の始まりを感じた。総合第4位。「帝京大学 駅伝競走部」という響は、彼らの手から手へと繋がり、さらに先へ行くことであろう。(田中)

帝京大学駅伝競走部ホームページ



最新NEWSをはじめ、試合情報、部員紹介や動画まで、駅伝競走部に関する情報をお伝えしていきます。帝京大学 駅伝競走部公式ホームページをご覧ください。

<http://ekiden.teikyouuniv.jp/>

帝京大学 駅伝競走部

